※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達と保育について学習します。受胎から乳幼児を中心とした学習内容を学びます。
・実習を通して、子どもの衣服や生活と養護を確認していきます。積極的に取り組みましょう。
・年２回の保育所実習・施設見学を通して、乳幼児の観察を行います。また、乳幼児と表現活動（劇等）を実施します。意欲的に参加しましょう。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達の道筋を理解し，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。 ・子どもと触れ合ったり，子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して，子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	・子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を発見し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。 ・子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・子どもの発達や子育て支援について関心を持ちながら、実際に子どもと関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	子どもの発達の特性 子どもの生活	子どもの発達 乳幼児期の特徴 発達と保育環境のかかわり 保育環境を整える 児童観・発達観とは 食事と栄養 食習慣の形成	a: 乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。乳幼児に適した献立を立てることができている。 乳幼児の消化吸収の機能や発達の段階にあわせた調理法について情報を収集し、衛生面に注意した適切な食生活の計画ができている。 b: 現代における発達観を踏まえて，自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる。 c: 人間の発達に関して興味・関心をもち，特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとしている。	定期考査 実習	定期考査 グループワーク 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	子どもの発達の過程 子どもの保育	胎児の発育・発達 夏休み実施予定の保育所実習をふまえて 保育の意義と重要性	a: 胎児の身体的・生理的な発達の特徴について理解している。 胎児の発達の観点から、親のとるべき行動を推察し，母性・父性の関わり方に生かすことができる。 b: 胎児の発育・発達には、母体を中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c: 胎児の発達の特徴について関心を持とうとしている。	定期考査 実習	定期考査 グループワーク 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	子どもの生活 子どもの福祉	乳幼児の身体的特徴 乳幼児の生理的特徴 発育の評価 生活と健康 これからの子育て支援 ＊保育所実習（2回目）に向けて園児に贈るクリスマスプレゼントの作製	a: 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 b: 子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c: 発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。	定期考査 実習	定期考査 グループワーク 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	子どもの発達の過程	第1回目の保育所実習のレポートをもとに ・運動機能と感覚機能の発達 ・知的発達 ・言葉の発達 ・情緒の発達 ・愛着関係の形成 〈12月考査〉 第2回保育所実習	a: 児童福祉の考え方やそれに関わる制度の知識を身に付けている。 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決について自身で情報を収集することができる。 発達の観点から、子どもの行動などを見て、特有の行動パターンや感情表出などを推察して子どもの行動を理解し、子どもとの関わり方に生かすことができる。 b: 子どもを健やかに育てていくためには、具体的な施策が必要であることがわかり、今後の施策の方向性などを判断することができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察している。 c: 子育て支援に関わる法律・制度・機関等について関心をもっている。子どもの発達の特徴について、意欲的に理解しようとしている。	定期考査 実習	定期考査 グループワーク 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	子どもの福祉	子育て支援の課題 現代の子育てに関わる問題点を視聴覚教材等を参考に考察し、解決策を話し合う	a:　子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。新生児期から乳児期までの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。 b:　子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c:　子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもっている。乳幼児期における発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。	定期考査 実習	定期考査 グループワーク 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度